

備前市事務事業評価表

事務事業名	農作物被害防止施設設置事業		コード	04-01-01-17
			担当課・係	農林水産課・管理係
			担当者	坂田圭弘
			電話	0869-64-1831
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目(施策)	農業		

事業について	
目的 (何のために)	有害獣による農作物の被害を防止し、農業者の生産意欲の向上を図る。
対象 (誰・何を対象に)	被害防止の為、防護柵等を設置する農業者
内容	有害獣による農作物の被害防止の為に防護柵を設置する農業者に対して予算の範囲内で資材費を補助。 (補助率1/2以内)

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
農作物被害防止施設設置補助金	953,000 円	1,903,699 円	
補助金交付件数	27 件	28 件	
設置距離	7,735 m	9,960 m	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	953	国庫補助金等	直接事業費	1,904	国庫補助金等	直接事業費				
	人件費	1,768	受益者負担	人件費	2,020	受益者負担	人件費				
	市債		市債		市債		市債				
合計	2,721	一般財源等	2,721	合計	3,924	一般財源等	3,924	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.28 人	0.40 人	
	結果指標名	設置距離	設置距離	
	結果指標量	7,735	9,960	
結果指標	単位	m	m	
	対前年比	-	128.77%	0.00%
	活動にかかるコスト	2,721,000 円	3,924,000 円	
結果指標	単位当たりコスト	352 円	394 円	
	結果指標名			
	結果指標量			
結果指標	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト			
結果指標	単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	有害獣による農作物の被害防止を図ることで農業者の生産意欲の向上につなげる。		
成果指標名	設置距離	式又は説明	
	17年度	18年度	
成果指標量	7,735	9,960	
対前年比	-	128.77%	0.00%
到達目標値	被害防止に向けた効率的な設置方法を指導し、地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。		到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	農業者からの要望が多い事業であり、事業の実施は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明 農業者からの要望が多い事業でもあり、前年度と同様に今後も継続していく。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量	被害防止に向けた効率的な設置方法を指導し、地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。	

総合評価	有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、農業者からの要望も増えている。こうした状況の中で本事業の実施により被害防止を図ることは、農業者の生産意欲の向上を促進し、農業振興につながるものと考えられる。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	適切な設置方法を指導し、効率的な被害防止を図る。	平成19年度	効率性の向上